

鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

■ネイチャーセンターは休館中です（4/1～9/30）



子ギツネの季節

村内いたるところで子ギツネを見かけます。遊び盛りの子ギツネ達は、路上でじゃれ合っていることもあり、運転中にヒヤッとすることも。この時期は、いつも以上に安全運転で田舎道を走ります。

キタギツネは見た目の可愛らしさから、観光地での餌やりの問題が後をたちません。野生動物が人間に依存して生きるということは、病気や交通事故のリスクを伴います。どうか人とは距離をおいて、立派な野生のキツネに育ててほしいです。

（桜井）【6月27日 16°C/12°C】

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報

■双眼鏡・傘の無料レンタル

■URL：<http://www.kushiro-shitsugen-np.jp>

※開館時間（4～10月）午前9時～午後5時



カキツバタが見頃です

心地の良い風の吹く初夏の釧路湿原。ヨシ・スゲ湿原では、アヤメ科の「カキツバタ」が今年も見頃を迎えています。また、湿原の奥の方をよくよく見てみると、このカキツバタがいくつか群落を作って咲いているのがわかると思います。見通しのいいところで、双眼鏡を使ってみてください！これからも釧路湿原では色々な花が順番に咲いていきますよ！

（藤原）【6月24日 27.5°C/11.6°C】

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

■湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事

※開館時間（4月～10月）午前10時～午後5時

◎入館料 無料



蝉しぐれ

6月下旬の塘路湖畔はエゾハルゼミの蝉しぐれに包まれています。寒さが続いた6月中旬は鳴りを潜めていた蝉しぐれですが、下旬になって暑さを感じる日が増えるにつれて、「ミョーケン・ミョーケン・ケケケケ…」という独特の鳴き声が響き渡るようになりました。現在、野鳥たちの声をかき消すほどの賑やかさで朝から夕方まで鳴き続けています。

「春」の名を持つエゾハルゼミですが、湖畔に響く蝉しぐれを聴いていると、春が終わりいよいよ夏が来たなと感じます。（中野）【6月26日 21°C/17°C】